



大井町北関戸

いわい けいじ **岩井 慶次さん 63**歳

## □プロフィル

市防災研究会会長、防災士。県の 防災・減災センターコーディネー ターや岐阜大学非常勤講師なども 務める「防災のプロ」。

に、恵那の市民防災はどうなっているのか防災に関心を持つようになった頃、知人出てきた。これではいけないと思った。出にぎり、不用品のような黄ばんだ下着も 市民自らが防災について学ぶ防災研究会を織はあったが形だけのものだった。そこで、と聞かれハッとした。各地区に自主防災組 ると、古くなったバナナ、物資の仕分けに携わった。

からだ。

東日本大震災では、

防災教育を受

と思っている。子どもが動くと大人も動くづくり。特に「子どもたちの力が必要だ」

もう一つは、

防災リ

ダー

養成などの人

立ち上げた。 避難所運営訓練の手助け、 みづくり。行政・福祉・市民の三者連携、活動で力を入れてきたのが、防災の仕組 の作成などだ。 早めの避難を呼 防災の仕組

げることがあり、

助かる命がある。

知っていることで防

そんな子ども

体験して自

「中学

弱い部分

全なまちをつくるため、

# 10年後の大人たちに防災を教える رما はまちづ

道に入ったきっかけだ。 として忙しく活動する岩井さんが、平成7年の阪神淡路大震災。今、 当時、 恵那青年会議所の理事長だった岩 防 災 の 土

地では、 ていた自分を思い、信じられなかった。現の一週間前、華やかな新年祝賀会に出席し 倒壊したビルや高速道路、 井さんは、 ンティアに行った。目の当たりにしたのは、 どこまでも続く砂ぼこりの臭い。 古くなったバナナ、冷たく固まったい仕分けに携わった。段ボールを開けは、体育館に山積みになっていた支援に自分を思い、信じられなかった。現 岐阜ブロックからの派遣でボラ 押しつぶされた ほん

い。市内の中学校で段ボールトイレを作っとが話題になった。そんなまちをつくりたけた中学生が、大人に避難を呼び掛けたこ 災害が起こっても、知ったちを見て確信している。 きな力になってくれる」と、 生は10年後に25歳。何か起きたときは、 分で考えたからできた工夫だった。 があると言って補強を始めた。 た時、実際に座った生徒たちが、

▲防災リーダーの研修会で被災地での経験を話す

出生おめでとう (6/16~7/15届出分)

)は保護者

生まれ

お誕生日

おめでとう!

かんちゃん1歳お めでとう☆たくさ んの笑顔で元気に すごそうね♡

父 剛志さん 🕲 裕美子さん

奈々さん

早川計夏ちゃん

災光さん

1歳おめでとう!!

大きく育っ



直美さん

父 康介さん 📵

いの蒼空でいてね 1歳おめでとう!

鈴木蒼空くん

◎ 翔一さん 圖 衿奈さん



◎ 啓太さん

、なってね☆

奏しました。

勝海翔くん

◎ 興太さん 📵 聡子さん



育子さん







夏目蒼生くん ◎陽一さん 愛さん







中西楓磨くん ❸ きみさん

◎駿さん

9月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。 ●お子さん1人で写った、顔全体 と胸から上が入っている写真❷住所❸氏名(ふりがな)❹生年月日❺性別❺電話番号❸両親の氏 名(ふりがな) 32字以内のコメント 9ケーブルテレビ放映の可否ーを、8月15日休までに電 子メールで申し込みください。郵送での申し込みも可能です。掲載は先着8人までです。

□申し込み・問い合わせ ■ ⊠info@city.ena.lg.jp 〒509-7292(住所不要) 総務課 26-2111(内線324)



6年生 井戸颯希君

6年生になってこの授業を 受けるまでは、バイオリンに 触ったこともありませんでし た。最初は、弾くのが難しかっ たです。練習を重ねて、だん だん上手に音が出るように なった時は、とても嬉しかっ たです。

# 中野方小学校

でもらおうと、6年生を対象にバイオリンを学ぶ授業を行っています。 リンを学ぶ授業を行っています。 リンを学ぶ授業を行っています。 リンを学ぶ授業を行っています。 リンを学ぶ授業を行っています。 リンを学ぶ授業を行っています。 リン生産地です。中野方小学校では、 リン生産地です。中野方小学校では、 ら、課題曲『きらきら星』を全員で演いう加知さんのアドバイスを受けながた。「周りと気持ちを一つにして」とイオリンの持ち方や弾き方を学びまし



25 2019年8月 広報えな 広報えな 2019年8月 24